

四季を感じる歩こう会 [ひな飾りウォーク in 原市場]

2月28日(日) 参加者 約50名

原市場地区行政センターでコース説明(中藤地区概要含む)



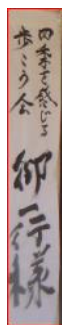
【コース】原市場地区行政センター→倉掛峠→もくねん工房→旧村社中藤白髭神社→中藤中郷自治会館(トイレ休憩)



倉掛峠で休憩



旧村社中藤白髭神社



中藤中郷自治会館(トイレ休憩)

ひな飾り見学班編成(5班)、班毎によりスタート会場が異なり少人数で見学スタート。

1班ひらぬま家⇒2班ギャラリー花筏⇒3班,武藤建設⇒4班,中藤御嶽神社倉掛峠⇒5班ステンドグラス工房⇒各会場の見学終了後に⇒中藤中郷自治会館へ集合し昼食、豚汁サービス満喫(手作り桜餅販売)昼食後破草蛙窯を見学し→倉掛峠→原市場白鬚神社の若山牧水の歌碑





【コース解説】 2016年 ひな飾りめぐり in 原市場コースマップ資料より

→倉掛峠(中藤地区と原市場地区間の峠):中藤・中沢地区から原市場中学校の通学路及び原市場地区や青梅方面への通勤路として重要な峠です。

昭和初期(昭和8年度から3年間)に農村振興土木事業として入間郡原市場村と埼玉県の補助金、総額 15,800 円で作られた道です。自動車の普及などにより昭和30年代にルートを沢の東側に変え、さらに平成22年頃、道路拡幅工事中の山崩れのためルートを変更し、沢を埋め立てて現在の形になりました。

→旧村社中藤白髭神社(もくねん工房前):設立は霊亀2年(西暦717年)で猿田彦の命をおまつりしてあります。1300年も昔からこの地区には集落があったという事が想像できます。氏子は中藤全域と名栗川の北川地域(金山、房ヶ谷戸、曲竹)に広がっています。大祭は10月9日で神事が行われます(最近では日曜日になっている)。昭和30年代までは仮設の舞台を建て歌舞伎が上演され、屋台もたくさん出て賑わっていました。社殿前の斜面は当時の棧敷の跡です。

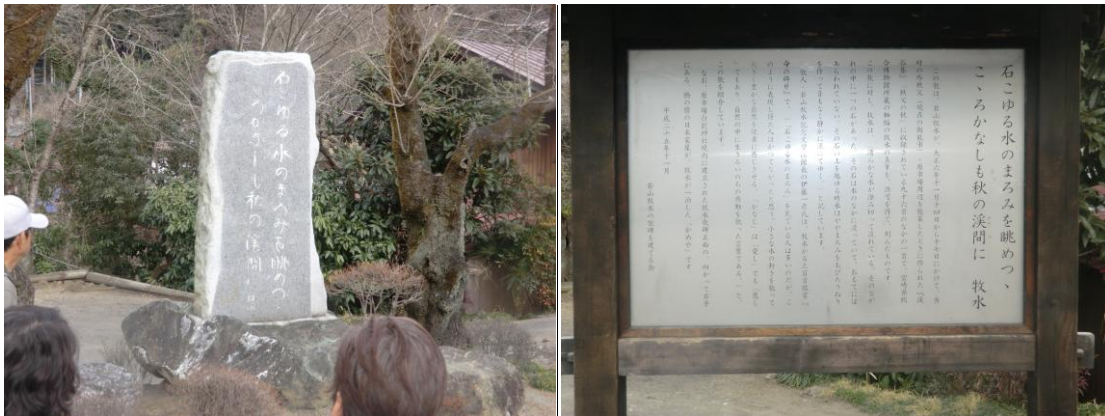
→中藤御嶽神社:木曾の御嶽山の支社、まるい講の御山、お祀りしてある各社の方角や順路は本山と同じに設置されています。縁日は毎月9日・18日・27日、元旦節分の節目。開山年は明確でないがカクジンという先達が開山しました(本殿右に立像があります)。毎年7~8月にまるい講で木曾の本山に詣でる(2泊3日)初代の頃は半月かかったといわれています。昭和20年代には初縁日(1月9日)に「籤引き」のお祭が行われ露店も出て賑わいました。小学校が半日になったこともありました。



→原市場白鬚神社の若山牧水の歌碑

大正6年に若山牧水が原市場周辺を訪れた際に詠んだ句、

「石こゆる水のまろみを眺めつつ ころかなしも秋の溪間に」 若山牧水
 歌碑は2013年11月に建立。飯能市原市場の割烹旅館「かめや」に一泊した際に詠まれたという。歌碑のそばには当時のままに、名栗川と牧水が宿泊した「かめや」の建物が残されている。



原市場行政センター 到着、＜16,000 歩、延べ12Km＞

お疲れさまでした。